

議会 だより



観音菩薩立像(青蓮寺)

五百体愛染明王像(青蓮寺)



副議長あいさつ・議会構成表	2
3月定例会	3~4
常任委員会の動き	5~7
一般質問	8~11
各委員会・協議会・組合議会報告	12~15
知っ得議会シリーズ④	15
小・中学校卒業式、編集後記	16

副議長あいさつ

副議長 山口 和治



このたび3月の定例議会にて、副議長に就任させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

町民の皆様には議会活動を身近に感じて頂きたいと「議会と語る会」を開催し、町民の声を行政に少しでも反映させるべく行政との繋ぎを目指しています。

町の現状は、少子化による人口の減少や、原子力発電のゼロ稼働に伴う厳しい財政運営を強いられている現在です。その様な事から、産業団地・住宅団地の整備を進めてきました。また、教育旅行を誘致して美浜町の自然を活かした体験型教育を、4月1日丹生小学校跡にオープンしたエネルギー環境教育体験館「きいばす」で実施いたします。さらに、外国からの誘客(インバウンド)事業等各種の事業で、町の活性化を取り戻そうと努力しています。

議会も行政と共に努力して行く事の必要性を痛感しています。

今後夢を持って、日々安心して暮らせる町づくりに議会も取り組んで行きたいと考えています。

町民の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い致します。

美浜町議会構成表

議長	松田 うめ子	(就任) 平成 28 年 3 月 8 日
副議長	山口 和治	(就任) 平成 29 年 3 月 7 日

(平成29年3月24日現在)

議席番号	氏名	住所	常任委員会			議会運営委員会	特別委員会		組合議会				福井県後期高齢者療広域連合
			総務文教	産業厚生	予算決算		原子力発電所	議会広報	環境衛生組合	美浜・三方	敦賀美方消防組合	嶺南広域行政組合	
			7人	7人	13人	6人	7人	7人	6人	4人	2人	3人	1人
1	梅津 隆久	菅浜		○	●		●					◎	
2	河本 猛	久々子	●	●	●	●		○		●			
3	辻井 雅之	佐田		●	●		●					●	
4	川畑 忠之	南市	●		●		●		●				
5	野瀬 雅己	佐柿	○		●	○		◎	●			●	
6	浜野 健治	菅浜	◎		○	●		●		◎			
7	崎元 良栄	南市		●	●		◎			●			
8	山口 和治	郷市		●	◎			●	●		◎		
9	藤本 悟	新庄		●	●	◎	○						
10	兵庫 賢一	河原市	●		●		●	●		●			
11	竹仲 良廣	南市		◎	●	●		●	●				
12	松田うめ子	金山	●				●		◎		●		●
13	辻 健一郎	佐田	●		●	●		●	●				
14	欠 員												

※常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会 ○・・・副委員長 ●・・・委員
 ※敦賀美方消防組合議会及び嶺南広域行政組合 ◎・・・代表者 ●・・・委員
 ※美浜・三方環境衛生組合 ◎・・・同組合議長 ●・・・委員
 ※公立小浜病院組合 ◎・・・常任委 ●・・・委員

◆第16期議員任期：平成26年3月15日～平成30年3月14日
 ◆常任委員会委員 及び 議会運営委員会委員 選任……平成29年3月7日

3月定例会（3月7日～24日）

3月定例会が、7日から24日までの18日間の会期で開催されました。平成28年度補正予算、29年度当初予算及び条例制定など26議案を可決いたしました。

28年度一般会計補正予算では、9千4百万円を減額し、補正予算の額を99億8千万円としました。主なものは、ふるさと応援基金、公共施設維持運営基金、健康診査推進強化基金など、基金を取り崩して充当する事業が一般財源で賄うことが出来たことによるものです。また、特別会計の産業団地事業、住宅団地事業についても事業費が確定し、それぞれ減額補正いたしました。

29年度当初予算は、一般会計が約74億9500万円、新規事業として、福井県園芸研究センターの拡充に伴い交流エリアの設計業務委託など約1億2905万円、エネルギービジョン事業化計画策定事業に約9220万円、道の駅整備など美浜スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業に1782万円



「きいばす」落成式でのテープカット

があります。また、エネルギー環境教育体験館「きいばす」の開設に伴い、管理費など約9220万円が予算化されました。
(野瀬記)

平成28年度 一般会計3月補正予算概要

予算規模	補正額	△9,413万円	補正後 予算総額	99億8,055万円
------	-----	----------	-------------	------------

◎ 歳出予算の内訳（増額した主要事項）

（単位：万円）

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	ふるさと応援基金積立金	4,083	ふるさと納税寄附金を財源に、美浜町総合振興計画に掲げる将来像の実現に向け必要な資金を積立てる。
	公共施設維持運営基金積立金	1,621	公共施設の維持及び運営に要する資金を積立てる。
民生費	臨時福祉給付金支給事業	2,542	消費税率引上げによる低所得者に与える負担の影響緩和措置（国の経済対策）に要する経費
衛生費	健康診査推進強化基金積立金	1,742	町民の健康診査の受診機会の向上を図る事業に必要な資金を積立てる。
	廃棄物処理広域化事業	199	焼却ごみ処理施設を整備するための基本構想策定に要する経費
商工費	企業誘致助成事業基金積立金	22,923	企業誘致助成事業に必要な資金を積立てる。

平成 29 年度 一般会計予算概要 (主要事業)

予算規模	予算額	74 億 9,593 万円	前年度比	△ 6 億 381 万円 (△ 7.5%)
------	-----	---------------	------	-----------------------

◎歳出予算の内訳 (主要事項) ●は新規事業 ○は拡充事業

(単位: 万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	○ 美浜ふるさと納税推進事業	12,024	ふるさと納税寄附者に対する謝礼(お礼品代金)【寄付見込額 1 億 5,000 万円】・ふるさと納税専用 Web サイト運営経費・お礼品配送に係る経費 など
	○ ふるさと創造プロジェクト事業	4,798	新庄山里ゾーンの整備に係る経費 登山道や登山者用トイレなどの整備費・イベント開催や特産品開発に係る経費・計画運営支援業務委託 など
	● 園芸拠点施設整備事業	12,906	福井県園芸研究センターの拡充に伴う、事業用地購入費・交流エリア(農産物直販所など)の基本設計業務委託
	● エネルギービジョン事業化計画策定事業	9,221	再生可能エネルギーを活用したまちづくりのための詳細な事業計画の策定に係る経費 策定委員謝礼・事業化計画策定業務委託 など
	● エネルギー環境教育体験館運営事業	9,759	エネルギー環境教育体験館「きいばす」の維持管理・体験プログラムの運営に係る経費やイベント開催に係る経費など
	○ 福井国体推進事業	3,071	平成 30 年開催の「福井しあわせ元気国体」に向けての事業実施経費 全日本中学選手権競漕大会開催に係る経費・大会実行委員会に対する運営費補助 など
	○ 福井国体花いっぱい推進事業	554	「福井しあわせ元気国体」に向けての花いっぱい運動、美化運動実施に係る経費 コスモス播種イベントの実施やプランター育成管理に係る経費 など
	○ 美し美浜「インバウンド」雇用創出プロジェクト事業	1,213	美浜プロモーションビデオ(春、夏の映像)作成業務委託・出向宣伝に係る経費 など
	● 美し美浜のふるさとナンバー製作経費	156	原動機付自転車及び小型特殊自動車等の美浜町オリジナルデザインナンバープレートの製作に係る経費
民生費	○ スマイル福祉プラン策定事業	414	美浜町地域福祉計画、障害者基本計画及び障害福祉計画策定業務委託・策定委員会に係る経費(委員謝礼など)
	○ わくわくキッズプログラム事業	203	外国人講師派遣業務委託・アウトドア体験(芋ほり、地引網など)に係る経費 など
衛生費	○ 健康みはま 21 推進強化事業	247	健康づくり支援体制強化事業委託(アンケート調査)・げんげん運動の推進に係る経費(料理コンテスト、みはまっ子健診の実施など)
	○ 健康診査事業	7,341	がん検診(胃がん、大腸がんなど)の委託・PET-CT 検査費などに対する補助・健康診査推進強化基金への積立 など
農林水産業費	○ 大規模園芸ハウス整備事業	2,300	自然光利用型連棟ハウス及び園芸機械の整備費補助・大規模園芸導入に係る雇用支援補助
	○ いきいき農業サポートプラン推進事業	1,300	いきいき農業サポートプランに基づき実施する農業施策に要する経費 園芸振興、水稲耕作支援などの事業費補助・市民農園の運用に係る経費 など
	○ 園芸産地広域拠点整備事業	1,000	種苗生産施設の整備用地造成費や生産用機械整備費の補助
	○ 美し米レベルアップ推進事業	190	美浜米リーフレットの作成業務委託料・ブランド米パッケージデザインの作成事業費補助・土壌分析、水田環境計測(水温調査)業務委託
	○ 美浜鯛路開拓事業	281	美浜町で水揚げされた水産物の商品価値を高め、販路拡大に要する経費 商標登録手数料・販路拡大補助や出向宣伝に係る経費 など
	○ 発酵熟成ブランド推進事業	532	へしこや塩ぶりなどの発酵熟成商品の販路拡大、雇用促進に係る経費 発酵熟成ブランド推進業務委託・PR 用消耗品費や熟成研究用材料費 など
商工費	○ 企業的園芸支援事業	13,300	完全閉鎖型植物工場の工場建築工事費に対する補助・工場管理用機器購入経費に対する補助
	● 三方五湖ゾーン整備事業	389	三方五湖ゾーンの整備に係る経費 サイクリングコース整備に伴う実施設計業務委託
土木費	○ 空家等対策事業	862	空家の解体、購入、リフォームに対する補助・空家見学ツアーの委託・移住交流体験施設に対する運営費補助 など
	● 町道久々子・東レイク線道路改良事業	6,700	道路の冠水被害に対する道路嵩上げ工事の実施・「福井しあわせ元気国体」に向けての道路舗装、改良工事の実施
	● 美浜スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業	1,782	美浜町立地適正化計画の策定業務委託・美浜町地域づくり拠点化整備計画の策定業務委託
	○ 地籍調査事業	1,174	境界の明示や公共事業の円滑化などを目的とする地籍調査事業に係る経費(本年度実施予定地 中寺区)地籍調査業務委託、地元説明会開催経費 など
教育費	● 学校 ICT 教育推進事業	477	学校 ICT 支援業務委託(支援員の配置)・ICT 教育の先進地視察経費
	○ 眠育・不登校対策事業	308	不登校対策相談支援員の配置・睡眠調査業務委託・不登校対策講演会の実施経費
	○ 小学校施設改修事業	8,540	美浜東小学校の校舎、体育館、多目的トイレ等改修工事の実施経
	○ なびあす文化事業	2,010	ピアノを活用した事業経費(ポルタ De' ファツィリオ、ピアノふれあい体験など)・コンサート、演劇、伝統芸能などの公演料・開館 5 周年記念事業の実施経費 など
	○ 美浜・五木ひろしまラソン開催事業	1,930	第 29 回美浜・五木ひろしまラソン(5 月 14 日開催)の開催経費及び第 30 回大会開催準備経費
	○ 総合運動公園改修事業	10,516	運動場屋外トイレ、体育館空調設備、テニスコートの改修工事費・駐車場ライン工事費 など
	● 福井県立三方青年の家艇庫維持管理事業	308	県立三方青年の家艇庫の維持管理経費(29 年度から県より指定管理を受けて実施)光熱水費、機械警備業務委託 など

●平成28年度美浜町一般会計補正予算
(第6号)

問 ふるさと納税の内容をもう少し詳しく。

答 当初の目標額は1億円を見込んでいたが、年度末では1億3500万円が見込めるため、基金の積み立てをするという事が主な理由である。

問 新たな出会い応援事業について、今年1年のいろいろな出会いのための事業が行われたが、その中でカッブルが出来たのか。

答 残念ながらカッブルができたという事は聞いていないが、メール交換をしているようなことを聞いている。現在進行中ではないかと思う。

問 エネルギー環境体験施設の減額は正しいのか。あとで大幅に増え、当初の約9億の予算を超えるという事は無いのか。現状はどれくらいの額で竣工するのか。

答 整備は、FBR交付金の8億9000万円と電源立地交付金を合わせて約11億円で事業を行った。その中で1300万円程の残金が出た。今回の減額は、開館支援業務のオープンに向けての準備に対して、昨年の当初予算で1600万円を見ていたが、職員配置等で業務カバーを行ったため、1270万円程減額できた。また、業

務や工事での差金であり、約11億円で竣工する。



「きいぱす」水でっぼうでの体験

問 木造住宅耐震改修促進事業での減額の理由は、PR不足によるものか。

答 この事業は、24年から始まっている。その中の実績は、現在2件あり、今年度は要望がなかったため減額になった。また、PRに関しては、広報やMMネットで町民の皆さんには伝えている。

意見 地震のことを思うと耐震改修をやるべきだと思っても、いざ改修となると半端な資金では出来ないため、躊躇していると思う。改めて耐震の必要性を含め、PRをお願いしたい。

答 この事業の補助金額は、国の補助の関係から工事費の23%以内と規制があり、1戸当たり上限が80万円と高い額ではないがPRを含め促進に努力したい。

問 小・中学校の臨時支援員の減額が数百万円あるが、予定していた支援員が減ったための減額か。

答 支援員については、人数的な要因よりも当初は全ての日数を勤務することを想定して予算を見ていたが、休日等勤務して頂けない日がありそれが要因の減額である。

●平成28年度美浜町国民健康保険事業
特別会計補正予算(第4号)

問 国保税の補正は無いが、収納率は。

答 収納見込みは、昨年は96%程度で、今年もそれに近い数字で95%台と推測している。

●平成29年度美浜町一般会計予算

問 今年度の大型投資案件は。

答 当初予算の普通建設事業では、耳川橋改修工事で約1億2千万円の増額が主な事業で、今後は補正予算で対応する。

【総務費】

問 美浜ふるさと納税推進事業は伸びているが、今年度の予測は。新しい返礼品構成を考えているのか。

答 今年度は1億5千万円くらいを目標としている。

問 園芸拠点整備事業の内容は。土地について若狭町との調整は済んでいるのか。

答 数時間の滞在型園地を考えており、葉草観察、葉膳料理等の提供

を考えている。土地の取得は美浜町で行い、県に橋渡しする。若狭町とは調整中である。



福井県園芸研究センター

問 エネルギービジョン事業化計画策定事業で、28年度の事業に引き続いて行う事業として委託料が高いが、金額に見合う効果があるのか。すでに水力、風力等の検討は終わっているではないか。

答 28年度は主に町内の持っているポテンシャルの調査に費やした。29年度は、その結果を持って事業化計画を策定する。多くの町民の参画を検討する。

問 エネルギー環境教育体験館運営事業の運営費の内容をお聞きしたい。また、体験教育の費用に教育費とのダブリが見られるのでは。

答 体験館のより高度な活用と、理解促進事業を実施する為4339万円の国庫補助金を見込んでいる。この

資金を元にして体験館のPR活動、イベント実施、他県からのアクセスの容易化等の内容を拡大した。考えていた運営費は出来る限り抑制したい。教育費の経費は、主に町内の学校等でのエネルギー環境教育を推進していく為の経費であり、校外学習の一貫としてきいばすを活用するもので、運営費とは別のものである。

問 福井国体花いっぱい運動は必要であるが、プランターに町内の間伐材の活用等を考えてはどうか。

答 国体を目標として行うが、その後も継続したい。町内の間伐材も検討する。



福井国体花いっぱい運動

問 美しい美浜インバウンド雇用創出プロジェクト制作は分かるが、効果の目標設定が重要である。美浜町の民間の受け入れ体制を含めて考える必要があると思うがどうか。

答 確かに受け入れ体制を整えるのは大切と考えている。今後は目標設定も行い全体を含めて検討する。

問 美しい美浜のふるさとナンバー制作費があるが、町民の要望なのか。無駄ではないか。

答 他の市町村でも実施しており、美浜のシンボル化、郷土愛の育成を目標とする。

問 【民生費】緊急通報体制等整備事業の内容は。

答 ひとり暮らしの高齢者等に107台のセンサーを配布しており、24時間通報できるシステムである。通報は、警備会社に伝わり緊急の場合は、役場にも伝える連絡体制である。利用者負担はない。

問 【衛生費】レイクヒルズ美方病院の経営改善改革の見通しはどうか。

答 「療養病床の在り方」については、国の特別部会の中で議論されてきたが、詳細はわからない。今後、国会で法制化され、詳細な情報が出てきた段階で、検討を進めていきたい。引き続き、現状を踏まえ、できることから経営改革を進める事で協議している。

問 【土木費】集会場耐震診断事業で耐震性なしと判断されたとき、どうなるのか。

答 28年度の収納率は、95%程度になる見込みである。滞納累計額は、約4000万円、滞納被保険者数は、約2000人である。

答 改修を目的として実施する費用で、国の耐震改修の補助制度があり、上限が国の補助を含めて3分の1の補助制度がある。

問 地籍調査事業は限られた地域だけでなく、町内全域で進めて頂きたい。

答 29年度は中寺を実施する。30年度以降も検討しながら進める。

問 【教育費】エネルギー環境教育推進事業で町内の児童の計画が入っていると言

答 うが、通常授業への影響はないのか。

答 午後には計画をしており、影響させないように考慮している。

問 高等学校等生徒通学費助成事業の範囲は。

答 美浜町在住の生徒が対象で、定期乗車券購入費の3分の1を補助し、月当たりの限度額は1万円である。

問 美浜・五木ひろしまラソン準備事業の第30回記念大会関係工事費の内容は。

答 記念碑的な物を建設する事を想定し予算計上しており、関係者との調整を進めたいと考えている。

問 ●平成29年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

問 国民健康保険の収納率はどのくらいか。滞納累計額、滞納被保険者数は。

答 28年度の収納率は、95%程度になる見込みである。滞納累計額は、約4000万円、滞納被保険者数は、約2000人である。

問 ●平成29年度美浜町下水道事業会計予算

問 東地区へのつなぎ込みの予定はどうなっているのか。

答 現在、県に変更認可申請をしており、平成36年度完成の見込みである。以上のとおり審査を終了し、本委員会を閉会しました。(山口記)

約2000人である。

問 一人あたりの国民健康保険者の給付費が高い。対応策は。

答 町民への啓発活動、健康づくり課と共同でげんげん運動等に対応する。

問 ●平成29年度美浜町産業団地事業特別会計予算

問 新規の誘致はないのか。

答 誘致活動は進んでおり、期待している。



若狭美浜インター産業団地の看板

●美浜町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について



ふるさと納税お礼品(一例)

問 条例の変更の理由は何か。

答 現行条例は第4次美浜町総合振興計画のスローガンを謳ったもので現状にそぐわない。また、振興計画の変更、改訂のために条例を変えるわけにはいかない。大局的な視点から文言変更を実施した。

寄付者の意向をよりくみ取れるように、美浜町の未来像を書き加えることも検討したらと言う意見もあり、条例変更は全員賛成で委員会採択された。

(浜野記)

●美浜町企業誘致条例の一部を改正する条例の制定について

問 進出企業が10年以内の撤退に対して、助成金の返還を規定するものだが、年数による基準は明確になっているのか。

答 状況により変わるが、基本は全額返還と解釈する。いろんなケースが考えられるので具体的には事業者との協議になる。

問 企業が撤退の場合、建物撤去や土地などの規定はどうか。

答 土地は売買契約で10年の買い戻し条項があり、町が買い戻す。10年以降は当該企業の売買になる。

●美浜町保育所条例の一部を改正する条例の制定について

問 旧はまかせ保育園は老朽化が進み、外壁が剥がれ落ちている。簡易塗装をすると聞いているが、効果はあるのか。

答 シルバー人材センターに依頼し、塗装膜の剥離と塗装を20万円程度で行った。見栄えは良くなったと思う。

問 旧はまかせ保育園の耐用年数と除却処分についての状況はどうか。

答 平成4年に建設され約24年経過している。解体する方向ではあるが、耐用年数は47年であり、補助金返還の要否を含め、国等へ問い合わせ中である。



旧はまかせ保育園

問 旧菅浜保育所も解体を検討しているようだが、公共施設の今後の管理方針はどのようになるのか。

答 町の方針として、将来利活用が見込めない施設は解体撤去を考えている。今後、これらを含め、公共施設のあり方を総合的に考えていく。

●美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の改正は全国統一のものか。

答 全国統一であり、これまでは要支援1、2の人に関しては介護予防給付制度しかなかったが、通所サービス、ホームヘルプが介護予防として受けられるようになる。また、要支援に至らない65歳以上の方もホームヘルプ、

デイサービスを受けられるようになる。
●児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴う美浜町関係条例の整理に関する条例の制定について

問 児童福祉法改正の理念とはどのような内容か。

答 養子縁組里親制度を法律で明確にしたもので、将来的に児童と養子縁組を成立させることにより、保護者のいない児童や生活困窮家庭でも健全育成を図るための定義を明確にし、法制化したものであるが、直ちに実行できるものではなく、県知事が認定する者しか里親にはなれないと定義されている。

●美浜町市民農園の設置及び管理に関する条例の制定について

問 貸出し区画数は原則1世帯につき2区画までとなっているが、限定するのか。

答 基本的には沢山の人に使うつもりだが、3区画以上の申し入れがあれば、別途検討したいが、原則2区画で始めたい。

問 小型管理機による人身事故の発生も心配されるが、取り扱いの徹底はどのようにするのか。

答 小型管理機の利用は安全確保のため、個人貸しをしない方向で、出来ればシルバー人材センターとの連携により、進めて行きたいと考えている。

(竹仲記)

質 問

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



崎元 良栄 議員

小倉山へのアクセス道路の整備について

問 私たちは子どもの頃から、小倉山と呼んで愛してきた山があり、263柱の英霊が刻み込まれた忠魂碑もある。町民の憩いの場として親しむためにも、車が通れるアクセス道路の整備は出来ないか。

町長 耳地区の遺族会の方々が管理している。その人達も高齢化して大変だと思う。以前は用地等の問題で出来なかつたが、地元また耳地区遺族会と相談し、道路整備を中心として公園化することを前向きに考えたい。

聴覚障がい者に対する支援について

問 手話が音声言語であることを国民に広め、聴覚障がい者が手話を身につけ、手話で学び、自由に手話がかえ、更には普及研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」の制定はできないのか。

町長 手話を広めることは重要なことだと思っている。美浜町だけで

は影響力は少ないので広域圏でとりくんでいきたい。まずは県の方に要望していきたい。

問 講演会やイベント等の大会において、リアルタイムによる字幕表示はできないのか。

福祉課長 入力システム表示するまでに、時差が生じるが聴覚障がい者、難聴者がイベント等に参加できるように、前向きに考える。

問 平成30年第73回国民大会「福井しあわせ元気大会」及び第18回全国障害者スポーツ大会「しあわせ元気大会」に向けて手話通訳者を育成することができないか。

福祉課長 県の大会実行委員会では、手話に対してボランティアの募集また専門知識を得るために、講習会も開かれる。そのような情報が入った時には町民に知らせていきたい。



兵庫 賢一 議員

町の防災対策の整備状況について

問 集落での水路の暗渠化が進んでいるが、排水対策及び消火活動

の水利確保は万全か。

町長 今日のような豪雨は集落内の小さな水路では賄いきれない。幹線の川の排水力を強化して、耳川へそして海へと早く流す方向での対策を行っている。耳川左岸は完了し、今後は右岸の整備を進めて行く。消火の為に水利は貯水槽で対応していく。

問 貯水槽の整備について、耐震化の現状と今後の計画はどうなっているか。

土木建築課長 貯水槽は現在103箇所あり、その内耐震性貯水槽は11箇所ある。当面8箇所設置する計画である。

問 パイプラインが農業用水以外にも利用可能となったが、消火活動に利用できる為の整備は進められているのか。進捗状況は。

土木建築課長 設置する場所を決め溜め枡を設置して、パイプラインの余った水を流し込み、溜った水を消防車が汲みあげて使用すると言った方法で利用できるように整備する計画を進めている。

問 農地へ水を供給しているパイプラインのバルブに直接給水管を接続できるのが非常時には一番便利で利用しやすく、パイプラインが通っている所ならば町内何処でも利用可能であり、現場もそれを望んでいる。その様な装置やシステムは無いのか。無ければ研究して作る価値は大いにある。ご一考願いたい。

土木建築課長 技術的には可能だが、水利権の問題・補助事業等の関係で、バルブに直接消防車が接続することには問題があり出来ない。解決には時間が掛かるので、当面は枡の設置を進めることで対応していく。

耳川の河口について

問 かつて耳川の河口は大きく曲がって海へ注いでいた。現在のように整備された経緯と、その後の川の流れの状況をどう捉えられているか。

町長 地元から、洪水対策と船着場に見え、土砂が溜まるのを防ぐための要望があり整備された。真っ直ぐに抜くための導流堤は機能している。河口に土砂が堆積するが、定期的に除去するのが最良の対応かと考える。

問 現状からして、費用対効果があったのか。

町長 地元地区の洪水の危険はなくなつた。船着場に砂が溜まらなくなつた。

問 耳川の流れの将来を見すえ、長い目で検証して行く、そんな姿勢で臨んで欲しい。

町長 いろいろ検討していく必要性はある。大学の先生にも相談しており、若狭湾、県全体でも問題は起きている。県も動いているので確認していきたい。

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。



竹仲 良廣 議員

三方五湖周辺観光、今後どうするの
遊覧船の早期再開、サイクリングコースの整備、園芸試験場の再開発

問 近年の美浜町への観光入り込み客数はどれだけか。

光観光課長 延べ人数で80万人から90万人を推移しており、平成28年度では86万4531人となっている。また、80万2226人が日帰り、宿泊は6万2305人という数字である。

問 昨年暮れに突然三方五湖遊覧船が休業となった。その後の観光客受け入れの影響は。

光観光課長 例年冬場の観光客は少ないので、現在は目立った影響はないが、春に向かいレークセンターのみならずほかの観光施設にも大きな影響が出てくると考える。

問 レークセンターの状況はどうか。

光観光課長 近年は3万6千人程度の入り込み数であったが、平成28年度は2万6912人に落ち込んでるのが現状である。

問 町は観光PRに年間どの程度の金額を投じているのか。

光観光課長 ポスターやパンフレットの作成、新聞、広告料、そしてイベント会場での物産展開催等で約1000万円の予算を計上している。

問 三方五湖周辺観光の低迷が続いているが、今後の観光開発をどう考えているのか。

光観光課長 遊覧船を早期に再開を目指し、五湖周遊のサイクリングコースの整備、園芸センターの再開、久々子寺山公園、飯切山の活用を考えている。

道路、融雪装置の整備予定は

馬背峠トンネル美浜側を平成28年度から、町道佐柿郷市線を平成30年度から整備計画

問 今年は近年にない大雪に見舞われたが、道路除雪体制の状況はどうなっているのか。

土木建築課長 町内業者25社及び地元の12集落に委託をして、積雪深さが10cmを超えた場合道路除雪を実施している。

問 美浜町において道路の消雪・融雪装置の普及が進んでいないが、今後の整備予定はあるのか。

土木建築課長 県道佐田竹波敦賀線の馬背峠トンネル、美浜町側において融雪装置の整備を平成28年度から行っており、また、平成30年から町道佐柿郷市線の側溝整備とあわせて、融雪装置の整備計画をしている。

問 町が管理する町道路線の総延長と維持管理費はどの程度か。

土木建築課長 総延長は167kmで、例年、約1800万円の経費を費やしている。

問 町道路線において、老朽化が進み随所に不備が見られるが、本格的な補修計画はどのようになっていくのか。

土木建築課長 現在、町道では佐柿郷市線、耳川橋の改築工事、ほか3件の整備を行っており、その他の道路大規模改修は毎年、年度初めに計画を立て実施している。今後とも整備計画に沿って実施していきたいと考えている。



河本 猛 議員

子ども医療費助成制度について

問 子ども医療費の無料化は、利用者で医療機関窓口で自己負担を支払い、後日、申請により助成される「償還払い方式」と、医療機関窓口で自己負担を支払わなくてもよい「窓口給付方式」がある。

美浜町の場合は、県が実施している制度よりも、町が上乘せして中学校卒業まで医療費助成対象にし、500円の定額分にも助成して完全無料化しているが、美浜町の現行制度は利用者が医療機関窓口で自己負担を支払い、後日申請されることにより助成される「償還払い方式」のままなのか。

福祉課長 窓口で一旦支払っていただき、後ほど全額給付される「償還払いの方式」としている。

問 子どもが病気やけがをしたときに、お金のことを気にしななくても辛いことである。医療費は原則無料だが、立て替えるための費用が必要であったりすることは、生活が困難な家庭に何かをもたらすのか考えてほしい。

今、日本は子どもの貧困率が過去最悪を更新し、6人に1人の子どもの貧困状態に置かれている。これは全国的な統計なので、美浜町も例外ではない。大企業の内部留保は390兆円にまで膨らむ一方で、労働者の賃金は年額18万円低下、家計消費も16カ月連続で前年比を下回り格差は広がっている。

子どもの医療費は、大人が自分自身のために出資する医療費とは異なり、子どもの医療が必要かどうか、受診するか、受診しないかを判断するのは、子ども本人ではなく親の判

3月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。

断になる。親の経済的な事情で必要な医療が受けられないという状況をなくさなくてはいけない。

子ども医療費の窓口無料化によって、子どもの早期受診や診断が進んだことで、重症化を防ぎ、医療費抑制効果が出ている自治体調査もある。

子育てしやすい、子育てに優しいまちづくりを推進するためにも、子どもの医療費の窓口無料化を実施し、医療費助成の対象も18歳、高校卒業の年齢まで引き上げるべきだ。

町長 中学生の無料化は比較的早い段階で踏み切ったと思っている。全体として子育て世帯の負担軽減をやっていく必要があると考えており、他の施策と足並みをそろえながら実施に踏み切っていきたいと思っている。

その他 三方五湖周辺の観光開発について、水神公園・寺山公園の再整備、観光拠点化施設、「へしこ」の販売方法について質問しました。また、琵琶湖若狭湾快速鉄道の積立金については、約2億1000万円の財源を利用して再生可能エネルギーの普及促進のための基金をつくり、エネルギーによる収益を行政区や学校区単位での活動に活かす仕組みをつくってはどうかと質問しました。



梅津 隆久 議員

一次産業と観光の連携強化について

問 大都市圏と地方との交流を更に加速させる必要性の中で体験型観光の拡大も大切であるが都会人をどの様な方策で誘客し観光の活性化に繋いで行こうと考えているのか。

町長 一次産業と観光業の連携は交流人口の拡大から重要である。体験型観光を経験した当時の中高生は成人しリピーターとなる方々との交流や一次産業者やアンテナショップである都会の会社等にも更なる協力を求めて行きたいと考える。

商工観光課長 体験型観光をはじめ、企業研修CSR、大学生のフィールドワーク、アクティブラーニング等に行きながら受入れ体制を整えて行きたい。また、若狭一体を周遊として考えるモデルコースを確立して行きたい。

問 首都圏のお客を美浜町に誘客するアイデアの一つとして美浜町体験型宿泊旅行割引等を提供するしくみを作る。およびスマホを活用

したSNS等での情報提供に努める様、提案したい。

商工観光課長 東京アンテナショップを通してパンフレット等を送付しているが参考になる意見でも有り観光協会と共に考えて行きたい。

問 熟成魚の加工場として日向地区に整備しているが町民へのPRに思う。町民への試食や美浜鮎路開拓事業、発酵熟成ブランド推進についての所見を伺いたい。

町長 熟成魚は東京でも評価が良いと聞いている。更なるPRと合わせて町内の新たな製品として使ってもらえる事も有りまた、東京で食べた人は美浜でも食べてみようという事になれば相乗効果が生まれると考える。

みはまブランド開拓課長 熟成魚加工場は生産体制も整い新年度の早いうちに操業したい。試食会や調理方法の講習会も計画している。また、町内の旅館、民宿での活用も促して行きたい。

問 加工場は会社経営であるが行政としてどの程度まで係わって行くのか。また、地元の方から行政の支援がなければやっていけないとの声もあるが行政としての考えは。

みはまブランド開拓課長 へしこ、熟成魚を含めた形の中で食文化に対しPRし観光誘客に繋げて行くと共に地元雇用に対しても支援して行きたいと考える。

問 美浜漁協では高鮮度、高品質な水産物の出荷に県内外から高い

評価を得ているが更なるブランド販路拡大戦略の方向性は。

みはまブランド開拓課長 「美浜鮎路開拓事業」と称して生産者と消費者との懸け橋としたい。尚、特殊処理することにより極上ブランド化し品質価値が消費者に認知して貰える販売方法を確立して行きたい。

観光振興について

問 美浜町の最大の観光目玉である三方五湖遊覧船の操業中止の経緯は理解しているが公的資金の投入はもとより県の観光補助事業を確保しゼロベースから経営再建を希望したいが町長の考えは。

町長 町、県、嶺南にとっても大きな観光資源と捉えている。現会社主体での再開は難しいことから色々な方策を講じながら新たな組織を立ち上げたいと考えている。船を含めた施設の老朽化の改修も必要である。水月湖年増資源と共に県としても再開して行くべきと考えている。

問 根本的な取り組みをしないと再建は難しいと言っているが船は使用可能と聞いているが経営する人がいるかと言うところが問題かと思うが再建時期は何時ぐらいになるのか。

町長 再建時期までは特定できないが長く運休していると知名度が低下するので出来るだけ早い時期に船の運行だけでも再開できないか検討を進

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。

めている。
問 敦賀半島西海岸ゾーンイベントとして9月16、17日に水晶浜で美浜町の魅力をアピールし交流人口拡大に繋げる目的で開催計画を進めているが進捗状況は。

商工観光課長 活性化検討委員会を立上げ9月のシルバーウィークで検討中である。現在中身を詰め体制を整えて進めて行く。また、実施結果を踏まえ今後の方向性も考えて行きたい。

意見 結果を十分フォローし継続を望む。また、会場では地元物販や宿泊誘致も図って頂きたい。

問 県新観光戦略として新たな観光戦略を進めると言っていることから34年の北陸新幹線敦賀開業を見据えてJR小浜線にレトロ列車を導入し嶺南広域観光誘客促進対策の一環として提案したいが見解は。

町長 現在、小浜線に乗る運動を県、若観連の協力のもと色々と考えを出し観光に繋ぐべく検討も進めている。

商工観光課長 新幹線敦賀開業と嶺南周遊型観光と言う事で小浜線に乗って貰い嶺南地域の活性化を図るべきと考える。現在ラッピング電車運行し6市町の誘客事業は進めている。蒸気機関車や車両の製作には高額な予算が

必要となる。実現するためには費用対効果を十分に検討する必要があると考



浜野 健治 議員

エネルギーの町を推進

問 エネルギービジョン事業化計画について総合的な所見を。

町長 原子力政策は間違っていないなかつたと考えている。再生エネルギーの活用も視野に進めてきて風力発電の検討もやってきた。今回美浜1・2号機の廃炉、3号機の再稼働までの経済状況を訴えエネルギー構造転換事業の補助金を活用し検討していきたい。

問 先進地薩摩川内は進んでいる。美浜町も早急に推進が必要だと考える。その為には産官学の強力な人材が必要であると考えます。

町長 さいばすでも産官学共同でまとめ財源は国に求めた。又、県の

エネルギー拠点化計画の中に含めた。事業計画の中でしっかりとロードマップを作成したい。

町長 現状エネルギーで研究開発の必要な案件は少ない。既存のものをいかに組み合わせるかの地域に合った形に仕上げるかがポイントである。当然委員会の提案を評価、活用して具体化を早く進めたい。

町内小中学校は年3回の体験学習

問 さいばすが開館を迎えているが、来館者を迎える広報宣伝に不安を感じる。例えば町内の小中学校の体験計画はどうなっているのか。

教育政策課長 町内小中学校は低、中、高学年に分けて年3回、3校で計27回中学校1・2年も年3回のさいばすを使った教育体験を考えている。

問 さいばすを目指して多くの来館者が来られるのだが、周辺環境の美化が必要と考えるが対応はするののか。

エネルギー政策課長 当然対策を実施していきたい。

問 当初予算で「美浜スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業」の構想が美浜駅を起点として提案

されました。早期実現のためにどのような推進体制を取るのか。

町長 23年度制定した都市計画マスタープランに沿って、国交省のアドバイスを受け進めた。道路環境等が変わってきており、町の発展を推進したい。町民、国交省、大学、企業、学識経験者と広い人材を活用してまとめていきたい。

高齢者の交通事故、注意

問 高齢者が関係する交通事故が話題になっております。美浜町では交通指導員の皆様の活動等で比較的事故が少ないわけですが、運転免許証の自主返納等の実態をお聞かせ下さい。

町長 美浜町では高齢者の運転は外へ出て活動するのに欠かせず重要。そんな中で交通事故は防がなければならぬ。

住民環境課長 これまでの自主返納社は34名、28年は7名であった。返納者にはコミバスの無料券、タクシーの割引券等の特典がある。

意見 美浜町では高齢者にとって車は必要な移動手段である。バランスのとれた対応をお願いしたい。

原子力発電所 特別委員会

平成29年3月17日原子力発電所特別委員会を開催いたしました。

当日は関西電力の宮越所長から美浜3号機の再稼働に向けた状況、美浜1・2号機の廃止措置計画の概要のほか、高浜発電所でのクレーン倒壊に係る今後の安全管理体制等の説明を受けました。

廃止措置については、地元企業参入に向けた取組について全体工事説明会、除染工事に関する情報交換会等を行い、地元企業との共同研究の募集で4企業が採用となりました。29年度も募集していきたいとの説明がありました。

高浜発電所のクレーン倒壊事故に關しては、会社全体で反省している。謙虚に原子力発電所の中で行う工事は、原子力にかかわらない所でも協力会社と共に肝に銘じて二度と事故がないように取り組んで行きたいという話がありました。

議会からもしっかりとした体制をとってほしいとの意見があいついであります。(崎元記)

現地視察

町道佐柿・郷市線耳川橋改築工事、美浜東美し野ニュータウン、黄舎・美浜東美し野「いきいき農園」を視察しました。

耳川橋は、大規模な改築工事を行っております。完成すれば車道幅員5m、歩道幅員2・5mの橋になります。近隣住民の方には大変ご迷惑をおかけしているので、工事の進捗状況や近隣への影響はないか確認してきました。引き続きご協力よろしくお願ひします。

美浜東美し野ニュータウンの第2期工事が終わり、県内初の環状交差点が出来ています。土地購入や住居建築に対する支援策もあり、結婚による定住支援、美浜町への転入支援、町内に留まる方への転居支援、Uターン支援などがそれぞれ限度額40万円の補助となっています。

空き家を活用した移住体験交流施設の「黄舎」は、美浜に移住したい方が、お試し期間として町に住める住居を提供するものです。「黄舎」を利用しながら就農などを行い、町内の空き家への移住を決めてもらえ

ば定住に繋がっていくことが出来ます。放置される空き家を減らしていく対策にもなります。

「黄舎」に隣接して、美浜東美し野「いきいき農園」が山上地区に出来ます。貸出農園は54区画あり、1区画30平方メートルです。町外者は年額5000円、町民は年額4000円となっています。農



美浜東美し野「いきいき農園」施設図



業体験を通じて就農、移住・定住、交流人口の増加につながることを期待しています。(河本記)

全 員 協 議 会

今3月定例会の前後の2月21日と3月21日に全員協議会がもたれ、町の主要施策等について行政から報告があり、意見が交わされました。

☆平成29年度改訂版農業アクションプラン(案)について

平成28年度版の重点課題と成果

①施設を含む園芸作物の推進

従来35棟だった園芸ハウスが、小型ハウスが新規で29棟、大型ハウスが1群(4棟)の合計64棟を整備。

②集落営農組織の推進

③小規模農家グループの応援

④新規就農者の確保

⑤農業サポート体制の確立

それらを踏まえ、本年度の強化ポイントとして、次の点を掲げております。

①各地域の「人・農地プラン」実現のための各種支援

②町内外からの新規就農者の確保重点

③園芸振興の更なる強化と、果樹生産基盤への支援重点

④休耕地解消に向けた施策

中でも空家を改修し、町外からの新規就農希望者受け入れ用の一時居

住場所を確保し、市民農園を整備し多面的活用を図ると共に、美浜暮らしの体験施設として活用する等、新規就農希望者と美浜へ移住する人を確保するのに力を入れております。休耕地解消のため、木の根を掘起こすために助成を出す事等も含まれております。



美浜町農業サポートセンター

☆空家対策について

☆住宅団地の整備・分譲状況について

第一期の分譲が19区画でしたが、

6区画が売却でき、現在4棟が建築中です。

☆美浜スマート・コンパクトシティ

魅力想像拠点化事業について

町では庁内で地域づくり拠点化整備コンセプト検討委員会を設置し、道の駅を含めた地域づくりの整備拠点となる候補地の選定を行ってきました。委員会が考えたコンセプト(案)と町民へのアンケート調査の結果に基づいて、この度美浜駅周辺を中心とした庁舎までの地域を、道路整備を含めて整備構想の対象地域とする発表がありました。

今後国交省等関係機関との折衝などを経て具体的な計画を立て、町民皆様の要望も踏まえながら整備をすすめる事になります。

☆公共施設等総合管理計画

町が整備してきた施設の中には、相当の年数が経過した物もあり、大規模な改修や建て替えが必要になることが見込まれます。また、人口減少や少子高齢化の進行が今後も予想されます。公共施設の適正配置と計画的な保全を推進することで、持続可能な住民サービスを提供するため、財政状況を踏まえたうえで、管理計画の基本を策定しました。

今後老朽化の著しい施設・不要な施設の処分も含め計画的に実施していくこととなります。タイミングがずれる事なくスピード感を持って取り組む様にしなければ手遅れになる場合もあり、注視していく必要があります。

☆環境基本計画について

平成19年に条例に基づき環境基本計画を策定しましたが、今後10年を見据えた、「第二次美浜町環境基本計画(案)」の報告がありました。

(兵庫記)



美浜町環境基本計画の冊子

敦賀・美方消防組合議会

平成28年度 高機能消防指令システム更新完了

敦賀・美方消防組合の消防指令センターは、システムの更新時期を迎え、より機能的な体制を整えた新システムを完成、供用を開始した。

新機能

- ・自動出動ディスプレイで出動車両を選別
- ・地図ディスプレイで災害地点を決定
- ・多目的ディスプレイで車両一覧を表示
- ・その他補助ディスプレイ

平成29年度 敦賀美方消防組合一般会計予算

14億3098万円を承認

敦賀美方消防組合議会は平成29年度一般会計予算を、前年対比1億4718万円減の14億3098万円を承認した。大きく減少した理由の一つは前年の消防緊急指令システム更新の経費が減少した為である。しかしながら最近の災害事例に備え、住宅密集地の消防水利の充実等や、災害対応特殊救急自動車、災害対応特殊消防ポンプ自動車等の充実が図られている。また、各分団の消防ポンプ自動車の更新は、敦賀消防

美浜・三方環境衛生組合議会

団中郷分団第1部(坂下)、美浜消防団第3分団第1部(新庄)、三方消防団第3分団第1部(井崎)を予定している。災害対応力の強化が図られている。

消防本部消防長に

岡 正一氏が就任

4月1日付け人事異動で谷口 勝氏の退任に伴い、消防本部消防長に岡 正一氏が就任した。(浜野記)



新庄配置予定の同型消防車

今3月29日平成29年度第1回美浜・三方環境衛生組合議会が開催されました。28年度補正予算及び当初予算の議案2件を可決いたしました。当初予算は約9億7632万円、昨年し尿処理施設建設事業が完了し、今年度は昨年より約4億円少なくなりました。

理事者から、旧の美方し尿処理場の解体工事と、その後のできる福井県園芸研究センターの拡充事業により、美浜町が運営する野菜などの直販所と農家レストランについて説明がありました。

また、平成34年度から廃棄物の処理を、美浜町と敦賀市の共同で、広域により実施する計画についても説明があり、敦賀市に事業委託する方向で検討していることがわかりました。これにより、美浜町と旧三方町で処理をしていた焼却施設は廃止されることとなります。

美方汚泥再処理センター竣工

3月30日松原地区の下水処理場隣に、新しく完成した美方汚泥再処理センターの開所式が行われました。

センターは、鉄筋コンクリート造地上2階、地下1階建てで、美浜町と旧三方町からのし尿汚泥を1日21キリットル処理できます。

し尿・汚泥は脱水し、エコクル

美方で助燃剤として有効利用し、脱水後の分離液は下水道に流入され直接自然界へ放流されることはありません。

旧の美方し尿処理場は解体されますが、稼働期間久々子の皆様には大変お世話になりました。また、今後は、松原地区の皆さんにお世話になります。よろしくお願いします。

施設は、見学窓もあり処理の状況を確認することができますので、町民の皆様にはご覧になっていただきたいと思っております。(野瀬記)



美方汚泥再処理センター

小浜病院組合議会

新病院改革プランを公表

平成29年度、第1回公立小浜病院組合議会は、2月15日に招集され、平成28年度の補正予算、平成29年度の事業会計予算、また組合職員の勤務時間、休暇に関する条例と育児休業等に関する条例の一部改正についての議案が上程され、2月28日の最終日においてすべて承認可決されました。

今回は2議員からの一般質問があり、病院での診察待ち時間の実態と診察予約システム、それに伴う改善策について、また入院食や栄養サポート等の質問がありました。病院側からは時間の効率的な見直しの実施や、アンケートの結果で改善を実施しているとの答弁がありました。

新公立病院改革プランも公表され、特に地域包括ケアシステムの中核を目指す事を重点に置くことと、平成32年度までの収支計画の数字も示されました。レイクヒルズ美方病院でも改革プランが示されましたが、評価委員会による日常的なチ

エックを重視して、経営形態を含め改革プランの取り組み状況を点検、評価して目標を達成して頂きたい。

(辻井記)



小浜病院組合議会



知っ得議会議シリーズ④

【議案の審議の進め方】

今回の知っ得議会議では、議会における議案の審議の進め方についてお知らせします。

条例(町のルール)の制定や変更、まちづくりのための予算は議案として議会に提出され、その議案を決定することを「議決」と言います。議会は、その議案を審議し、意思決定するために話し合いをすることから「議決機関」と呼ばれており、町民の皆さんの要望や意見を反映させるために議論し、どのようなまちづくりを行うかを決めています。議決までの流れは次のとおりです。

まず、議会または行政が本会議(※1)に議案を提出し、議案の種類ごとに、担当する各委員会に付託(※2)され、より詳しく話し合いを行います。委員会での議論が終わると、その結果を委員長が本会議で報告し、質疑・討論の後、各議員が議題について賛成か反対かを判断し、多数決により議会全体の意思を決定します。行政は、その結果を政策に反映し、仕事を進めていくこととなります。

(※1) 議会の意思を最終的に決定する会議

(※2) 議案の専門的・詳細な事項について議論を委ねること

(事務局記)

美浜町立小学校
卒業式



町内3つの小学校で3月16日、卒業式が行われました。



美浜中央小学校卒業式



美浜西小学校卒業式



美浜東小学校卒業式

美浜中学校
卒業式



美浜中学校で3月10日、卒業式が行われました。希望を胸にそれぞれの進路に向かって羽ばたいていく姿は、たくましく美浜の将来を安心させてくれるものでした。私たち議員も、新しい人生のスタートを、今後もしっかりと見守っていき、学校教育の推進に努力していきたいと思いました。(川畑記)



編集後記

平成29年度がスタートした。美浜町エネルギー教育体験館「きいばす」が4月1日にオープンした。町内の小中学校の児童生徒へのエネルギー教育が校内授業と併行して「きいばす」での体験が行われる。将来を担う子供達に正しいエネルギーの発生メカニズムや、活用方法を学んでもらう。将来地球の省資源化や温暖化防止等に役立つものと考えている。この教育は県内や近隣の小中学校の体験学習に活用されると共に、一般読者も手軽に活用できる教材を通じて学べる内容になっており、議会としても有効に活用されるよう見まもりたい。(浜野記)

美浜町議会
広報特別委員会

- 【委員長】 野瀬 雅己
- 【副委員長】 河本 猛
- 【委員】 浜野 健治
- 山口 和治
- 兵庫 賢一
- 竹仲 良廣
- 辻 健一郎